

美瑛の農業2021（令和3年）

1 地勢と気象

美瑛町の地勢は、おおむね波状丘陵で、その丘陵をめぐって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その流域が水田となっている。丘陵部には畑が広がり、東部には大雪山系が控えているため、独特の景観を呈している。

気象は寒暖の差が激しい内陸性の気候で、令和2年の農耕期（5～9月）の積算温度は2,537℃、降水量は474mmである。

2 耕地面積

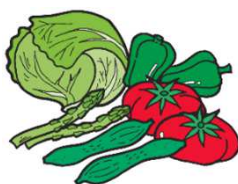
令和2年の耕地面積は、12,600haであり、田2,200ha、普通畑10,400haとなっている。

耕地面積は、町の総土地面積67,678haの約2割を占めている。農地のうち約4割が、中山間直接支払制度の対象農地であり、傾斜地で構成される多くの農地は、農作業の効率化を阻んでいる。

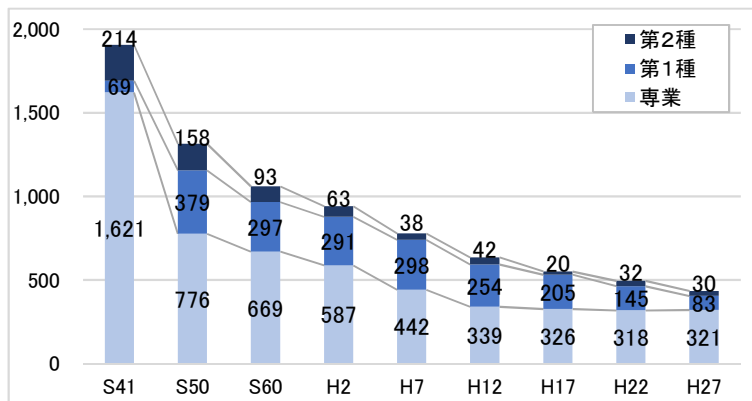
3 農家戸数

昭和30年に2,419戸だった農家戸数は、昭和60年に1,059戸となり、その後も毎年20戸程度の減少が続き、平成27年には販売農家戸数は434戸（法人事業体は除く）となった。なお、令和2年度末現在の農地所有適格法人は58事業体となっている。

新規就農者数に関しては、令和2年は20名であり、うち新規参入は5名であった。美瑛町では、美瑛町農業担い手研修センターにて町内での新規就農を目指す方々を対象に2年間トマト栽培の実践研修を行っている。



【農家戸数の推移】



資料：「農林業センサス」「北海道農業基本調査」

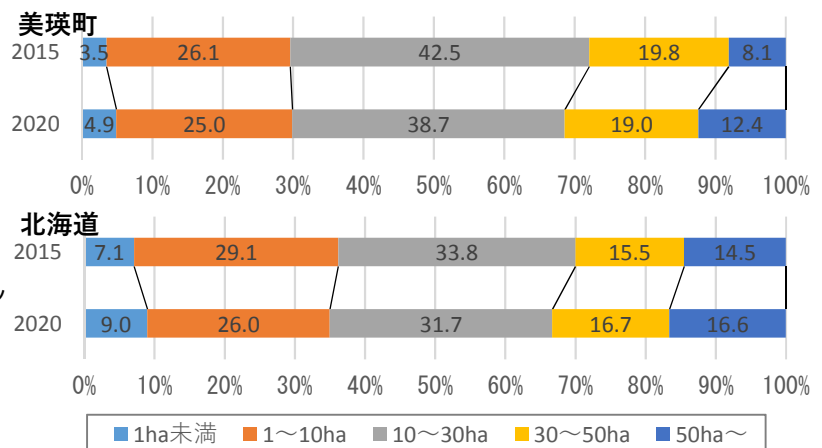
【新規就農者数の推移】

（単位：人）

	H29	H30	R1	R2
新規学卒	2	2	5	5
Uターン等	2	2	3	10
新規参入	4	4	0	5
合計	8	8	8	20

資料：美瑛町調べ

【美瑛町・北海道における経営規模別農家戸数割合の比較】



資料：農林水産省「2015農林業センサス」「2020農林業センサス」

4 経営規模

美瑛町の令和2年の1戸あたりの平均経営耕地面積は28.8haで、全道平均の29.5haより小さい。特に10～30haの階層が占める割合は38.7%と、中規模農家が多いことがわかる。

平成27年と比べると農家戸数は減少している一方で、大規模経営の農家の割合は増える傾向にあり、離農等に伴う農地の集積が進んでいる状況にある。

5 経営形態

令和2年の農業経営形態別農家戸数は、複合経営が最も多く146戸（36.0%）、続いて単一経営が152戸（37.4%）、準単一複合経営が108戸（26.6%）となっている。

稲作や施設野菜を中心とした経営体以外の畑作中心の経営体については、毎年多くの種類の作付けを行い、輪作を行なっている傾向が高い。

【経営形態別農家戸数】

（単位：戸）

	販売農家 戸数	複合経営	準単一 複合経営	単一経営
美瑛町	406	146	108	152
北海道	33,541	7,571	6,828	19,142

※複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%未満の経営体
準単一複合経営：主位部門の農産物販売金額が60%以上80%未満の経営体
単一経営：主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体

	単一経営の内訳											
	稲作	麦類作	雑穀・ イモ類・ 豆類作	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	その他 作物	酪農	肉牛	養豚	その他
美瑛町	29	13	13	2	13	40	1	5	27	3	4	1
北海道	5,109	385	1,319	89	1,977	1,648	549	707	4,936	1,131	123	707

6 農業生産

資料：「2020農林業センサス」

令和2年の農作物の作付面積は、小麦が3,236haと最も多く、次いで飼料用作物、てん菜、水稻、馬鈴薯、大豆の順となっている。美瑛町では、小麦、てん菜、馬鈴薯、豆類等主体とした輪作体系の確立を目指しており、同じほ場でも毎年作付が変わることで、美瑛独特の『パッチワーク』と表現される毎年異なった丘陵地帯での田園風景を作り出している。

令和2年の農業生産量は令和元年と同様に豊作であったため、新型コロナウイルスの影響を受けて農産物の需要は低迷していたものの、区域内生産額は昨年度と同様128億円となった。

作物	令和2年			令和元年		
	面積	生産量	生産額	面積	生産量	生産額
	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)	(ha)	(俵・t・頭)	(千円)
水稻	916ha	91,600俵	1,143,992	922ha	87,590俵	1,170,465
小麦	3,236ha	280,385俵	759,092	3,249ha	307,582俵	828,275
大豆	604ha	25,069俵	285,215	618ha	24,720俵	294,320
その他豆類	359ha	14,706俵	269,010	350ha	15,902俵	357,530
てん菜	1,072ha	78,720 t	750,756	1,022ha	76,650 t	797,160
馬鈴薯	762ha	27,500 t	1,110,220	813ha	28,635 t	1,095,391
スイートコーン	369.5ha	4,106 t	188,125	373ha	5,155 t	224,075
かぼちゃ	128ha	1,614 t	107,658	118ha	1,444 t	97,452
トマト	44ha	5,557 t	1,797,000	44ha	5,612 t	1,604,182
アスパラガス	121.2ha	292 t	262,800	131ha	273 t	245,700
たまねぎ	159.3ha	7,965 t	597,375	157ha	7,897 t	631,760
ブロッコリー	56.3ha	478 t	176,860	63ha	476 t	171,360
いんげん	30.5ha	247 t	41,281	30ha	225 t	37,900
飼料用作物	2,430ha	-	-	2,430ha	-	-
その他	1,312.2ha	-	405,954	1,280ha	-	429,217
耕種計	11,600ha	-	7,895,338	11,600ha	-	7,984,787
肉畜	-	23,724頭	1,716,324	-	23,608頭	1,838,947
生乳	-	32,872 t	3,208,797	-	31,269 t	2,964,415
畜産計	-	-	4,925,121	-	-	4,803,362
合計	-	-	12,820,459	-	-	12,788,149

資料：R1・R2区域内農業生産実績（JA調べ）

（2021.4改訂）